



えん罪のない社会を目指そう

小沢一郎元代表 無罪！

本日4月26日、いわゆる「陸山会事件」で政治資金規正法違反の虚偽記入に問われていた小沢一郎民主党元代表に対し、東京地裁は無罪を言い渡した。法律と証拠を正当に判断した極めて当然の判決である。

この「事件」は、記載漏れ、あるいは誤記をことさらに取り上げ、あたかも極めて悪質な金銭授受があったかのように作り上げた事件であった。さらに裁判の中では、石川知裕議員の供述調書が、違法な取り調べを理由にすべて採用されないなど捜査自体の異常性が明らかになった。

このような「えん罪」事件に対して、立場を超えた共闘により、「小沢一郎議員を支援する会」などの運動が作られ、JR総連も全面的に支持し、集会などにも参加してきた。

一方、小沢元代表を良しとしない人々は、マスコミと結託して、「悪党小沢」を執拗に描き出してきた。さらに、無罪の可能性が高まると、スキャンダルなどありとあらゆる手段を駆使した。

今、いずれに正義があったのか明らかとなった。

JR総連は、えん罪に苦しむあらゆる人々と連帯し、社会正義の実現のために闘い続けることを明らかにする。